

東海化成品株式会社

医・産を支える

多品種エンブラ加工

- 納期相談
- 企画力自信有
- コスト相談
- オンライン技術
- メイドインジャパン
- 試作可小ロット
- 量産対応



さまざまな樹脂を使った製品

業務内容

100個以下の少量品を
丁寧につくり込む

東海化成品は、医療機器や産業機器に使われるエンジニアリングプラスチック部品をメインに、ロットが100を切る少量部品を多品種にわたって製造している。機械加工だけでなく、手加工でしかできないものも引き受けているのが特長だ。多くの同業他社が機械加工を中心に部品製造を行う中、取引先の要望に応えるため、手作業による接着、熱曲げ、溶接、熱プレス成形まで対応。ここまでの作業を1社でカバーしているプラスチック部品メーカーは少ないという。

強み

樹脂を知り尽くした
職人の技術力

本来なら金属加工に使用するNCフライスやNC旋盤を用いてプラスチック部品を製造している同社。だが金属と同じ感覚で加工すると、溶けたり潰れたりする恐れがある上、プラスチックは種類が非常に多く、物性が個々に違う。そうした材質特性を見極めながら、職人技によってクオリティの高い製品に仕上げてくのが同社の得意とするところだ。材料をチャッキングする際のバイス調整、熱曲げ時の温度管理や引っ張り加減等、経験から編み出した技術を投入することで、樹脂加工では難しい



創意工夫が活きている製造現場

人材

技術者は営業出身
取引先の声を現場に反映

いレベルの精度を実現している。樹脂に関する豊富な知識を活かした寸法提案も行っており、熱膨張を勘案したはめ合い公差等を取引先にアドバイスすることで、品質の維持に貢献している。

現場で働く社員のほとんどが営業出身。そのため、取引先の意をくみながら製造に取り組むことができる。「例えば、短納期にも快く応じますし、タイトな納品スケジュール下でも優先順位を考え、工程まで組み替えることができます。納期対応はどこにも負けないと思いますよ」と山田社長。

営業出身同士ということもあり、現場でのチームワークも良好だ。アットホームさを取り入れながらも、「ここまでできない」ではなく、取引先の要望に最大限応えるための体制を整えている。

今後の展望

医工のコラボによる
オリジナル開発品に意欲

積み上げられた職人技、経験値を守るため、苦しい時でもリストラしないというのが同社の方針だ。今後は、社員の結束力を高めながら、オリジナル商品の開発に力を入れる。全社員でアイデアを出し合いながら、他の中小企業と連携することで、新たなアイテムを商品化に近づけている。

また、医療分野の部品についても、開発から手掛けてみたいと意欲的。医工連携に積極的に関わり、現場に役立つ商品づくりに乗り出したい意向だ。

COMPANY PROFILE

東海化成品株式会社

大阪 24

当社の歴史

私自身、材料商社で営業していたこともあり、工業系ではない人材が会社に来ました。それでもここまで技術力を高めてこられたのは、「取引先のニーズに何が何でも応えよう」という実践力と意気込みだったと思います。大手メーカーや大学との産学連携開発に携わったことありますが、厳しい品質要請に苦労した反面、技術や対応力が鍛えられました。

社員を大事にしたい。今まで辞職者が一人もいないのが自慢です。

代表取締役 山田 耕司さん



■主な事業内容

医療・食品・船舶等産業分野のプラスチック製品の製造等

■主な取引先(納入先)

船舶製造部品メーカー、医療器部品メーカー、食品製造部品メーカー、工業用部品メーカー等

住所／〒581-0055
八尾市跡部南の町
1-1-1
TEL／072-993-1329
FAX／072-993-1754
創業／昭和63年6月
設立／昭和63年6月
資本金／1,000万円
従業員／11名

<http://www.toukaikaseihin.jp/>